



2013春闘勝利!

国労仙台総行動行われる!!

3月9日

3月9日(土)、仙台市勾当台公園において仙台総行動が開催されました。この行動は、仙台地本が各支部・分会から事務局を選出し議論を重ね準備を行ってきました。

春闘時の地本としての取り組みとして定着し、今集会には、仙台地方本部内から約三〇〇名が参加(支部は約七〇名)し、二〇一三春闘勝利、東日本大震災早期復興、反原発、大幅賃上げによる景気回復等を街頭で訴えました。(行動に先立ち、街頭チラシ配布が行われました。)

主催者を代表し大沼委員長は、冒頭、東日本大震災にふれ「あの震災から丸二年となる。組合員の方が、盛岡・水戸で亡くなった。仙台では、組合員の家族が亡くなっている。ご冥福をお祈りしたい」と哀悼の意を表し、続いて春闘情勢・政治状況にふれながら「今春闘、2つの柱を決めた。一つは、職場の組合員一人1要求をまとめ現場長に申し入れを行い、職場で働きやすい環境作りを全員で求めていくことを確認してきた。また統一闘争として運動を前に進めよう」と取り組んできた。今、東日本・貨物で交渉が取り組まれている。私たちがしっかりとその運動を後押しをすることを改めて確認し合いたい。また地域や共闘等、労働者の団結ということを考え、国労単独の集会から、地域の仲間と非正規の働く仲間との輪を広げ、労働者全体

の労働条件の底上げを求めたい」と取り組んできた。これからの運動課題の一つとして改めて考えていただきたい。もう一つは組織拡大について。働く者のために労働者全体が一

緒になり統一する要求を掲げて運動をつくり雇用を拡大する。そうした取り組みが求められている。労働者全体が集まり統一要求を決めて闘う、こうした春闘の本来の意味を、もう一度考えなければならぬ。そのためには私たちがJRの中で少数の組合に甘んじているわけにはい

かない。中央本部は、第一八三回中央委員会で春闘方針・要求を確認すると同時に、組織の1割の拡大を闘争指令を発して取り組んでいくことを確認した。これまでのように役員、活動家だけで対応しきれぬ運動ではない。全組合員一人一人が、この運動に参加し組織の1割の組織拡大を目指していこう。郡山駅連分会、東北自動車支部等の教訓を学びながら一人一人参加できる組織拡大行動を取り組んでいこう。」と訴えました。

この集会には、政労、共闘等、多くの来賓が駆け付けていただきました。また国労本部・佐藤副委員長から春闘情勢・組織問題等をはじめとした報告があり、各職協報告、各支部・分会決意表明と続き、五十嵐書記長の集約、最後に大沼委員長の団結カンパローを打ち上げ、デモ行進を仙台市内において行いました。